

TicketMe（チケミー）

主催者向け サービス仕様書

販売準備 / 販売中運用 / 当日運用 / 流通 / 精算 / トラブル対応

発行日：2026-07-03

目次

目次	2
0. 本書について	4
0.1 本書の位置づけ	4
0.2 本書の対象読者	4
0.3 本書の対象外	4
0.4 版数・問い合わせ先	4
0.5 凡例（本書の読み方）	5
1. サービス全体像	5
1.1 プラットフォーム概要	5
1.2 商品種別の比較	5
1.3 登場人物（ロール）の要点	6
2. 【準備】販売の設計と作成	6
2.1 アカウントと本人確認	6
2.2 ウォレットとデジタル資産	6
2.3 イベントの構造	7
2.4 券種と価格モデル ★重要	7
2.5 受付と販売方式	8
2.6 座席・整理番号の設計	8
2.7 公開範囲とアクセス制御	9
3. 【販売中】運用	9
3.1 購入・決済フロー（利用者側の流れ）	9
3.2 抽選運用	11
3.3 配席・採番の確定	12
3.4 販売中に変更できること	13
4. 【当日】入場・もぎり	13
4.1 入場（もぎり）の通常フロー	13
4.2 当日券・電話予約	13
4.3 例外フロー	13
5. 【流通】譲渡・リセール	14
5.1 譲渡（無償移転）	14
5.2 リセール（二次流通） ★重要	14
5.3 リセールの金額配分	14
5.4 リセールの可視性と転売抑止	15
6. 【精算】出金	15
6.1 通常出金と毎月出金の違い	15
6.2 売上の確定タイミング（通常出金）	16
6.3 毎月出金のタイミング	16
6.4 申請から入金まで（両方式共通）	16
7. 物販・会員券	16

7.1 物販（グッズ）	16
7.2 会員券（サブスク）	17
7.3 特典の扱い	17
8. 拡張・連携と主催者管理	17
8.1 World（専用サイト）・LINE ミニアプリ	17
8.2 紹介・招待（限定公開リンク）	17
8.3 通知・メール	18
8.4 主催者向け管理ダッシュボード	18
8.5 データエクスポート（CSV）の取り扱い	18
9. 多言語・通貨・ブロックチェーン基盤	18
9.1 多言語・多通貨	18
9.2 デジタル資産・ブロックチェーンの扱い（概要）	18
10. 手数料体系	19
10.1 計算例	19
11. セキュリティ・個人情報・法令順守	20
11.1 本人確認手段	20
11.2 購入制限・アクセス制御	20
11.3 不正・転売対策	20
11.4 個人情報・データの取り扱い	20
12. 通常フロー／例外フロー総覧	20
13. 権限マトリクス	21
14. 変更可否マトリクス（販売開始前／後）	22
15. FAQ（主催者向け）	22
16. トラブルシューティング	23
17. 既知制約・未対応一覧	24
18. 用語集	24

※ 本ファイルを開いた際は、目次上で右クリック → 「フィールド更新」 でページ番号を更新してください。

0. 本書について

0.1 本書の位置づけ

本書は、TicketMe で公演や物販を販売する主催者が、実務のタスク順（販売準備 → 販売中運用 → 当日運用 → 流通 → 精算）で迷わず参照できるように構成した仕様書です。

各機能は「何ができるか／誰がやるか／いつできるか／例外時はどうなるか」が分かる形で記述しています。販売開始の前後で変更できる項目は「変更可否マトリクス（第 14 章）」、操作できる人は「権限マトリクス（第 13 章）」に一覧化しています。

本書はサービスの仕様とルールを示す文書です。管理画面の具体的な操作手順（どの画面のどのボタンを押すか）は、各機能の操作マニュアルをあわせてご参照ください。

記載内容の確度について：本書に記載の機能・フロー・制約は、発行日時点の確定仕様です。一方、手数料率・振込手数料・各種日数などの数値は既定値であり、契約内容や運営の設定により変わる場合があります。該当箇所にはその旨を明記しています。

0.2 本書の対象読者

読者	本書で主に参照する箇所
主催者（販売担当）	販売準備～精算の全章。とくに第 2～7 章、変更可否・権限マトリクス、FAQ。
主催者側の当日運営スタッフ	第 4 章 入場・もぎり、第 15 章 FAQ、第 16 章 トラブルシューティング。
主催者側の経理担当	第 6 章 出金、第 10 章 手数料、第 8 章 CSV の取り扱い。

0.3 本書の対象外

- ・ システム内部の API 仕様、データベース構造、ブロックチェーンの実装詳細（必要な範囲のみ概要で触れます）。
- ・ 利用者（購入者）向けの操作マニュアル。本書は主催者の視点で記述します。
- ・ 管理画面の操作手順。各機能の操作マニュアルをご参照ください。
- ・ 契約・料率の個別交渉条件。本書記載の手数料・日数は既定値であり、契約により異なる場合があります。

0.4 版数・問い合わせ先

版数：v2.2（公開版）。発行日 2026-07-03。

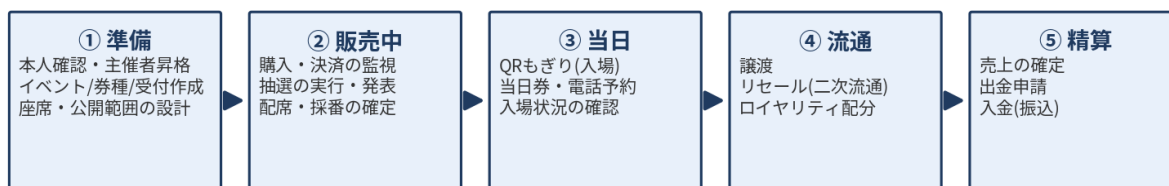
問い合わせ先：本書の内容や個別の設定・運用に関するご質問は、担当者または主催者サポート窓口までご連絡ください。

0.5 凡例（本書の読み方）

記号	意味	扱い方
★重要	主催者が誤りやすい・影響の大きい要点。	設定・運用時に必ず確認。
【未対応】	現時点でシステムが対応していない機能。	手動運用などの代替を併記（第 17 章に集約）。
通常フロー	想定どおりに進む標準手順。	—
例外フロー	失敗・期限切れ・キャンセル等の分岐。	—

1. サービス全体像

TicketMe 主催者の業務全体フロー(本書の章構成に対応)



本書 第2章 → 第3章 → 第4章 → 第5章 → 第6章 の順に、実務のタスク順で参照できます。

図 1 主催者の業務全体フロー

1.1 プラットフォーム概要

何ができるか：チケット・物販・会員証を、ブロックチェーン上のデジタル資産として発行・販売できます。

利用者にはデジタル技術を意識させず、「チケット」「グッズ」「会員証」としての体験を提供します。決済はクレジットカード・コンビニ払い・デジタル決済（Apple Pay/Google Pay/Alipay）に対応します。

ガス代の負担なし：発行に伴うブロックチェーン手数料（ガス代）は利用者・主催者とも負担しません（運営が負担します）。

1.2 商品種別の比較

項目	イベントチケット	物販（グッズ）	会員券
課金	単発	単発	単発、または月額（サブスク）
受け渡し	QR で入場	ダウンロード／配送	会員証として保有
有効期限	開催日時	引換期間	有効期間（日数。無期限も可）
リセール／譲渡	可（主催者が制御）	可（主催者が制御）	可（設定で制御）

1.3 登場人物（ロール）の要点

ロールは「一般ユーザー」「主催者」「管理者（運営）」「パートナー」の4種です。詳細な操作権限は第13章 権限マトリクスを参照してください。

- ・ **一般ユーザー（購入者）**：購入、譲渡、リセール出品・購入。
- ・ **主催者（販売者）**：イベント／物販／会員券の作成・販売、売上・出金管理。一般ユーザーからの昇格は運営が手続きします（本人確認の完了が前提）。
- ・ **管理者（運営）**：ユーザー・手数料・権限の変更、本人確認、出金管理、各種代行操作。
- ・ **パートナー**：外部連携の事業者向けロールです。操作範囲は連携内容により異なります。

2. 【準備】販売の設計と作成

本章は販売開始前に行う設計・作成タスクを、実施順に並べています。

2.1 アカウントと本人確認

ログイン手段：①メール＋パスワード ②LINE 連携（国内版／海外版） ③ウォレット署名。

ログイン用メールアドレスは本人操作で変更できます（新アドレスへ認証コードを送信して確認）。1つのアカウントで複数の利用者プロフィールを管理・切替できます。

★重要 主催者になるには本人確認の完了が前提です。本人確認ステータス：未申請／申請中／確認済み／却下。一般ユーザーからの昇格は運営が手続きします。

参考：利用者（購入者）の退会には、チケット保有中・未出金残高あり等の制約があります。購入者から退会について相談を受けた場合は、利用者向けヘルプまたは運営サポートを案内してください。

2.2 ウォレットとデジタル資産

- メール登録時にウォレットが自動生成されます（基本は1利用者1ウォレット）。外部ウォレットの利用も可能です。
- チケット・グッズ・会員証は、ブロックチェーン上のデジタル資産として1枚ずつ管理されます。
- **★重要** 受取確定（入場時などの「受け取り」）後は、原則そのチケットを他者へ移せません（不正転売の抑止）。

2.3 イベントの構造

構成：「グループイベント（公演全体）」の下に「日程」「チケット種別（券種）」「受付（販売期間）」がぶら下がります。

1つの公演に複数日程・複数会場・複数の受付（先着／抽選）を設定できます。

作成項目：イベント名（多言語）、説明、会場（複数可）、開催日時、チケット画像、公開設定（非公開／限定公開／公開日時指定）。

2.4 券種と価格モデル ★重要

2.4.1 価格は「受付の基準価格」＋「券種の価格調整」の2層

- 受付ごとに基準価格を設定します（例：先着販売 10,000 円／通常販売 11,000 円）。
- 券種（チケットタイプ）は基準価格に対する「価格調整」として設定します（○円を加算、または割引）。例：特典付き = +2,000 円。
- **最終価格 = 受付の基準価格 + 券種の価格調整**（購入のたびに計算されます）。

券種	先着販売（基準 10,000 円）	通常販売（基準 11,000 円）
通常チケット	10,000 円	11,000 円
特典付き（+2,000 円）	12,000 円	13,000 円（自動）

2.4.2 設定場所の注意 ★重要

券種の価格調整（+2,000 円など）は「チケット券種編集」からのみ設定できます。 受付編集からは設定できません。

受付編集で設定できるのは各日程の「基準価格」と「割当枚数」のみです。加算後の金額（例：13,000 円）は受付編集画面に表示されません（反映は購入時の計算）。

受付ごとに券種をオン／オフする設定はありません（券種は全受付に一律適用されます）。

券種名は1文字以上が必須です。文字数・券種の個数に上限はありません。

2.4.3 価格のルール

- ・ 調整後の価格には下限（最低300円）と上限があります。
- ・ 先着販売は調整後0円を許容します。抽選販売は調整後ぴったり0円は不可です（決済が成立しないため）。
- ・ 「特典付きチケット」は専用機能ではなく、価格調整付きの券種、または副券で表現します（2.5・第7章参照）。

2.5 受付と販売方式

設定項目（受付ごと）：受付名称、販売方式（先着／抽選）、販売（抽選）期間、支払い締切、決済手段、購入枚数制限、割当枚数。

先着販売の流れ：販売開始 → 申込（枚数・座席の仮押さえ） → 在庫確認 → 決済 → チケット発行。
自由席・整理番号の仮押さえは45分で、期限切れで自動解放されます（指定席の座席選択は3.3参照）。

抽選販売の流れ：申込期間 → 締切 → 抽選 → 当選発表 → 当選者の決済 → 未払い分の処理 → 発行（詳細は第3章）。

2.5.1 購入枚数制限

- ・ 「1人あたり購入上限」「1回の注文あたり上限（既定5枚）」「制限の適用単位（券種ごと／受付ごと／イベント全体／制限なし）」を設定できます。1注文は1～5枚です。
- ・ **販売開始後でも変更できます**。ただし上限を引き下げの場合は、既に上限近くまで購入済みの人との整合に注意してください。

2.5.2 質問（アンケート）・副券

- ・ 購入／受取時に設問（記述／チェックボックス／ラジオ）を提示できます。必須可否、もぎり画面での回答表示を設定できます。
- ・ 券種ごとに別の設問を出すことも、チケット1枚ごとに回答を取ることも可能です。
- ・ **副券**：メインチケットの保有を前提に購入できる追加券です。

2.6 座席・整理番号の設計

種別	内容	配席・採番
自由席	座席指定なし	—
整理番号	整理番号のみ	購入時に自動採番
指定席	座席指定	事前配席・購入時に座席選択
あとから配席	座席指定だが後日配席	販売後に一括配席
あとから採番	整理番号を後日採番	販売後に一括採番

配席・採番の運用詳細は第3章 3.3「配席・採番の確定」を参照してください。

2.7 公開範囲とアクセス制御

設定	挙動
非公開	オーナー以外には表示されません。
限定公開	一覧に出さず、URLを知る人だけがアクセスできます（クローズド販売向け）。
準備中	発行直後の準備状態。UI上「準備中」と表示されます。

アクセス制御：NFT（デジタル資産）保有制限で、特定の保有を購入条件にできます（いずれか保有／すべて保有／制限なし）。会員証の保有を条件にする使い方も可能です。抽選受付では本人確認書類の提出・確認を求める設定もできます。

3.【販売中】運用

3.1 購入・決済フロー（利用者側の流れ）

主催者は次の流れを前提に、在庫・決済状況を監視します。

1. 仮押さえ：自由席・整理番号は枚数を45分間確保します（期限切れで自動解放）。指定席は座席選択後、一定時間で自動解放されます（3.3.1参照）。
2. 決済方法の選択・金額確認 → 決済（3Dセキュア要否で分岐）。
3. チケット発行 → ウォレットに反映 → マイチケットに表示。

3.1.1 決済手段

手段	備考（手数料の詳細は第10章）
クレジットカード（3Dセキュア）	追加手数料はありません（決済手数料のみ）。3Dセキュア不可時は通常認証にフォールバック設定可。
コンビニ払い	決済手数料に加え、+2%とコンビニ手数料150円/回が購入者に加算され

手段	備考（手数料の詳細は第 10 章）
	ます。支払い番号・期限あり（期限超過で自動失効）。紙チケットの発券時のみ発券手数料 165 円/枚が加算されます。
デジタル決済（Apple Pay／Google Pay／Alipay）	決済手数料に加え、+4%が購入者に加算されます。

決済手段の利用可否 早見表：すべての決済手段を、全販売方式・外貨（米ドル）イベントでご利用いただけます。

手段	自由席・整理番号	指定席	抽選	外貨（米ドル）イベント
クレジットカード	○	○	○	○
コンビニ払い	○	○	○	○
デジタル決済	○	○	○	○

3.1.2 外貨販売・為替

- ・ 日本円（既定）と米ドルに対応します（外貨は米ドルのみ）。外貨イベントは購入時点の為替レートを固定して日本円換算します。

3.1.3 返金・キャンセル（通常／例外）★重要

通常：仮押さえは期限切れで自動解放されます。これが標準の在庫戻り動作で、決済前であれば主催者の対応は不要です。

【未対応】システムによる自動返金機能はありません。決済完了後、利用者操作によるキャンセル／返金フローもありません。返金の要否判断と実行は主催者が行います。

個別返金の進め方（推奨）：

1. 管理ダッシュボードの参加者一覧・売上明細で対象の購入を特定します。
2. 返金方法（銀行振込など、システム外での返金）と返金額を購入者と合意します。
3. 決済手数料・販売手数料分の取り扱い（返金額に含めるか）は、事前に運営サポートへご相談ください。

公演中止・延期時の一括対応（推奨）：

1. 購入者一覧 CSV を出力し、返金対象者と金額を確定します。
2. 購入者一括メール（8.3）で中止・延期と返金手続きを案内します。
3. 返金の実務（振込等）は主催者にて実施します。件数が多い場合の対応方法は運営サポートへ早めにご相談ください。

責任分界：返金要否の判断・実行は主催者が行います。運営サポートは購入者からの問い合わせの受付と主催者への取次ぎを担当します。

3.2 抽選運用

抽選販売のタイムライン(通常フローと例外フロー)

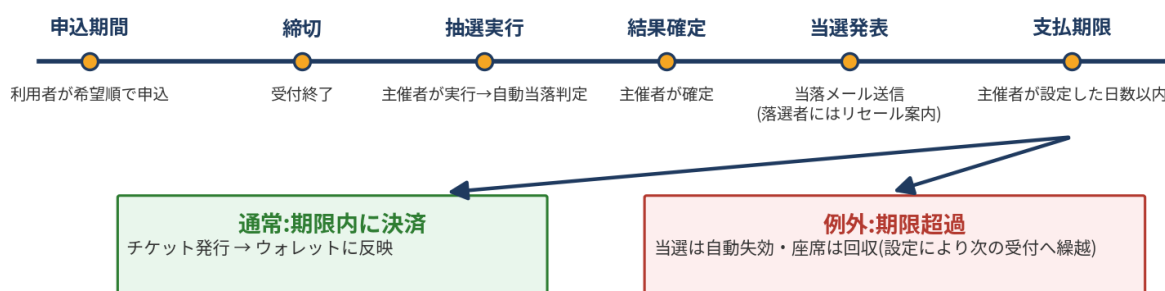


図2 抽選販売のタイムライン

3.2.1 申込と制約

- 1件の申込で複数日程を希望順（第一希望…）で出せます。券種にも希望順を設定できます。
- 申込は申込期間内のみ可能です。SMS認証やアクセス制限がある受付は事前認証が必要です。購入枚数制限も適用されます。

3.2.2 抽選の実行と状態

状態遷移：受付前／受付中 → 処理中 → 確定 → 発表済み。

主催者が抽選を実行 → 自動で当落判定 → 主催者が結果を確定 → 当選発表日に公開、と進みます。

当落判定：日程・券種の希望順を上位から処理し、枠の範囲で当選を決定します（同条件の申込間はランダム）。指定席は連番が確保できない場合スキップされます。

3.2.3 当選発表・決済・未払い処理（通常／例外）

通常：当選発表日まで結果は非公開です。発表時に当落メールを送信します（落選者にはリセール案内も送られます）。当選者は支払期限（発表日から主催者が設定した日数）内に決済します。クレジットカードは自動決済、コンビニ払い等は後払いです。

例外：支払期限を超過すると当選は自動失効します（座席は回収されます）。「次の受付へ自動繰越」を設定すると、未払い枠を次の受付へ繰り越せます。

3.2.4 主催者の運用操作

- ・ 抽選結果の整合性チェック（日程あたり1券種、座席の連続性、同一座席の重複なし等）が可能です。
- ・ 結果は「削除して再抽選」で調整する想定です。
- ・ 手動での座席指定、追加当選・追加販売を行いたい場合は、事前に運営サポートへ手順をご相談ください。

3.3 配席・採番の確定

3.3.1 指定席／あとから配席

- ・ 指定席：主催者が座席（区画・列・番号・売り止め・多言語名）を登録します。購入時に購入者が座席を選択して仮押さえし、購入確定で座席が確定します。仮押さえは一定時間で自動解放されます。
- ・ あとから配席の流れ：購入完了 → 配席の下書き → 自動配席提案 → 確定 → 購入者へ反映（状態：未着手 → 下書き → 処理中 → 完了）。

自動配席のロジック：空席を連続席のかたまりに整理し、申込をシャッフル（公平化）したうえで、必要枚数にちょうど合う席を優先割当します。連番が足りない場合はバラ配置＋警告となります。最大10回試行し最良結果を採用します。

3.3.2 整理番号

- ・ 即時採番：購入時に自動付与します（接頭文字＋開始番号を設定）。前の受付の続き番号にする／任意の開始番号にする、を選択できます。
- ・ あとから採番：販売後に一括採番します（下書き → 確定）。受付間の連番のため、前受付の発行完了順に注意してください。

3.3.3 運用上の注意・既知の事象

【未対応】座席の削除（売り止めで対応）。座席名の変更（再登録が必要）。

増席は運営側の操作＋座席登録で対応します。大量処理時はシステム側で分割・待機制御し、更新中は多重操作できません。

よくある事象：「連番確保失敗」の警告は空席の断片化が原因です（バラ配置＋手動修正を検討してください）。配席確定の反映は通常数秒です。

3.4 販売中に変更できること

販売開始の前後で変更できる項目は混同しやすいため、第 14 章 変更可否マトリクスに集約しました。販売中の変更は必ず同表で可否を確認してください。

4. 【当日】入場・もぎり

本章は入場管理の仕様とルールを示します。もぎり画面の具体的な操作手順は、別冊「入場管理ツール 当日運営マニュアル」をご参照ください。

4.1 入場（もぎり）の通常フロー

QR 入場：購入者が QR を提示 → 主催者／スタッフがスキャン → もぎり完了。

QR もぎりのほか、スワイプ入場にも対応します。

スタッフは主催者発行の共有リンクからもぎりできます。

誰がやるか：主催者または、共有リンクを受け取った当日スタッフ。

いつできるか：当日（公演の入場時）。設問の「回答をもぎり画面に表示」をオンにすると、入場時に回答（例：応援チーム）を確認できます。

4.2 当日券・電話予約

- ・ 当日券・電話予約の来場者は、来場者情報を入力して「もぎり登録」します（オンライン購入を經由しない入場記録）。
- ・ 入場状況一覧で、購入者数・入場済み・残数をリアルタイムに確認できます。

4.3 例外フロー

二度目の入場は拒否されます（もぎり済み QR の再提示）。

受取確定後のチケットは他者へ移せません（転売抑止）。

責任分界：入場可否の最終判断は当日運用担当が行います。判定に迷うケースは主催者の責任者、または運営サポートにエスカレーションしてください。

5. 【流通】譲渡・リセール

5.1 譲渡（無償移転）

通常：送信者がリンク（QR/URL）を作成 → 受信者が受け取り → 所有権が移ります。二重受取は防止されます。

制限・例外：譲渡禁止設定が可能です。パートナー発行チケットは開催開始後は受取できません。受取確定済みのチケットは移転できません。

譲渡可否・リセール可否は販売開始後も切り替えできます。

5.2 リセール（二次流通）★重要

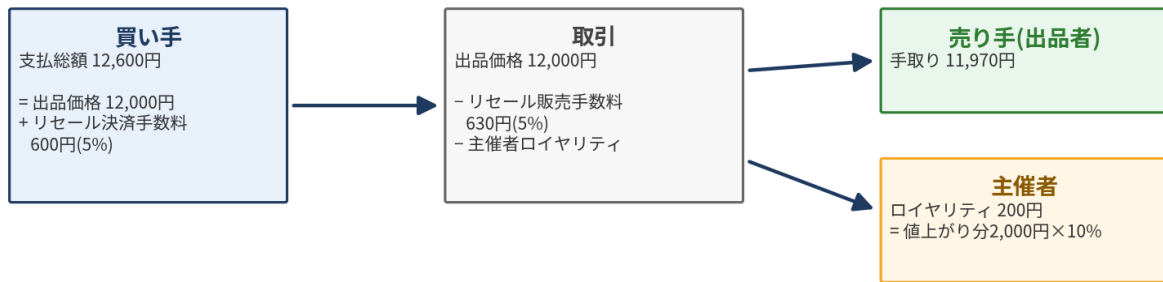
出品の状態：出品中／約定済み／キャンセル／削除。「未約定」＝出品中で買い手未確定の状態です。

リセール制御：開始日時、最低価格（既定 300 円）、リセール禁止設定。リセールの仮押さえは 15 分です。

5.3 リセールの金額配分

- **買い手支払** = 出品価格 + リセール決済手数料。
- **売り手手取り** = 買い手支払 - リセール販売手数料 - 主催者ロイヤリティ。
- **主催者ロイヤリティ** = 値上がり分（出品価格 - 直近取引価格）× 率（値上がり益にのみ課金）。

リセール(二次流通)の金額配分 — 例:定価10,000円のチケットを12,000円で出品(手数料各5%・ロイヤリティ10%)



※ ロイヤリティは「値上がり益」(出品価格 - 直近取引価格)にのみ課金されます。定価以下の出品では発生しません。

図 3 リセールの金額配分 (計算例)

5.4 リセールの可視性と転売抑止

見る人	未約定の出品一覧	補足
出品者本人	× (一覧は見られない)	自分の出品一覧機能は【未対応】。個別の取得・更新・キャンセルは可能です (出品を特定できる場合)。
他の一般ユーザー	○	公開の出品一覧に並びます。出品者での絞り込みは不可。
主催者	×	参加者のリセール状況を一覧で見る機能はありません。
管理者 (運営)	×	リセール管理画面はありません。

転売リスクへの備え：出品の一覧監視はできませんが、不正転売への抑止機構は次のとおり複数用意されています。目的に応じて組み合わせて設定してください。

- ・ リセール禁止設定・開始日時 of 制御：そもそも出品させない、期間を限定する。
- ・ 受取確定後の転送不可：入場済み・受取済みチケットは移転できません。
- ・ 主催者ロイヤリティ：値上がり益に課金することで高額転売の利益を抑制します。
- ・ 公式リセールの提供自体が、SNS 等での場外取引 (詐欺リスクの温床) を減らす効果を持ちます。

6. 【精算】 出金

★よくある質問の領域です。出金は「通常出金」と「毎月出金」から選べます。違いは『売上が出金可能になるタイミング』です。

6.1 通常出金と毎月出金の違い

項目	通常出金	毎月出金
申請	都度申請	締日後に月単位で申請
売上が確定するタイミング	商品ごと（6.2 参照）	設定した締日に自動確定
出金対象	選んだ商品の確定売上	締め期間（1 か月分）の確定売上

6.2 売上の確定タイミング（通常出金）

共通条件：出金対象残高が 500 円以上。出金できるのは「確定売上」です。

商品	出金可能になるタイミング
イベント	開催終了の翌日正午（日本時間）以降
グループイベント	グループ内の最後の公演終了の翌日正午（日本時間）以降
物販（グッズ）	即時（確定売上があればいつでも）
会員券	即時

6.3 毎月出金のタイミング

主催者が設定した締日（例：15 日／月末）を基準に、締日到達分の売上が翌営業日以降に自動確定します。確定後、その締め期間（1 か月分）をまとめて出金申請できます。

締め期間の例：月末締めなら当月 1 日～末日、15 日締めなら前月 16 日～当月 15 日が 1 単位です。

6.4 申請から入金まで（両方式共通）

1. 希望入金日を指定します（申請から 5 営業日後～14 日後の平日）。15 時以降や土日の申請は翌営業日起算です。未指定なら次営業日が自動設定されます。
2. ステータス：申請（保留）→ 処理中 → 支払済み（運営承認・振込実行）。差戻し・キャンセルがあります。
3. 振込手数料と消費税は申請内容に応じて算出されます。手数料は振込先の銀行・入金日により変動するため、確定額は出金申請画面でご確認ください。手数料ルールは両方式で同じです。

売上の前提：売上は購入時にいったん「仮売上」となり、確定処理（イベントは開催後、毎月出金は締日後）で「確定売上」になります。

7. 物販・会員券

7.1 物販（グッズ）

- ・ イベントと独立して販売できます。物理グッズ（配送）／デジタル（ダウンロード）に対応。価格は0円または300円以上、販売上限は最大999,999です。
- ・ 流れ：下書き → 正式発行（本人確認が前提） → 販売 → 購入 → 発行 → 受取確定（配送先入力など）。仮押さえは通常15分（決済に進むと45分に延長）。
- ・ 配送ステータス：受取確定 → 配送開始 → 受取完了 → 使用確認。受取確定時に既存の出品・オフアーは自動キャンセルされます。
- ・ 手数料・決済・リセールはチケットと同様です。

7.2 会員券（サブスク）

- ・ デジタル会員証です。月額0円＝単発、月額あり＝サブスク（毎月1日に自動課金）。有効期間は日数指定（無期限も可）。
- ・ 決済はクレジットカード（3Dセキュア）のみです（継続課金を含む）。毎月の課金前に会員資格とカード有効性を確認します。
- ・ **解約・自動退会**：カード未登録／会員資格喪失／決済失敗で自動解約＋通知。手動解約も可能です。サブスク契約中はアカウント退会できません。
- ・ **会員限定**：会員証の保有を条件に、他のイベント・物販を「会員のみ購入可」にできます。
- ・ 販売開始後に月額を変更する場合、既存会員への反映方法に注意が必要です。実施前に運営サポートへご相談ください。

7.3 特典の扱い

【未対応】 専用の特典機能はありません。

「特典付き」は①価格調整付き券種②副券で表現します。

8. 拡張・連携と主催者管理

8.1 World（専用サイト）・LINE ミニアプリ

- ・ **World**：主催者ごとに独自ドメイン／サブドメインで運営できる専用販売サイトです。ブランドカラー・多言語・取扱チケットをサイト単位で設定できます。
- ・ **LINE ミニアプリ**：LINE内で動く販売サイトに対応します。LINEアカウントと利用者を紐付け、LINEでの一括配信も可能です。

8.2 紹介・招待（限定公開リンク）

限定公開チケットやプライベートセール、外部連携への導線として、専用リンク（招待リンク）を発行できます。外部サービスからの遷移にも対応します。

8.3 通知・メール

- 主な自動メール：登録確認・メール認証、パスワード再設定、購入者一括メール（主催者発信）、当落通知、入金確認、退会完了など（9言語対応）。
- 通知設定：売却通知、オファー受信通知、マーケティング配信の同意。LINEでの配信も可能です。

8.4 主催者向け管理ダッシュボード

確認できること：売上高（月次・税抜/税込）、販売枚数、参加者一覧、売上明細、入金ステータス。

参加者情報：名前・表示ID・メール・チケット識別番号・使用済み/座席/アンケート回答など。

8.5 データエクスポート（CSV）の取り扱い

出力できるもの：抽選申込一覧 CSV（氏名・メール・都道府県・性別・年齢・決済種別+希望日程・券種+アンケート回答。券種別・チケット単位で列が増えます）、購入者一覧、入金一覧。上記以外のデータ（物販/会員券の購入者、入場記録など）の出力可否・方法は、運営サポートにお問い合わせください。

個人情報保護：CSVは個人情報を含むため、主催者・運営の認証下でのみ出力できます（第11章参照）。

9. 多言語・通貨・ブロックチェーン基盤

9.1 多言語・多通貨

- 対応言語（9）：日本語・英語・韓国語・タイ語・イタリア語・フランス語・スペイン語・中国語（簡体/繁体）。イベント名・説明・質問などを多言語で入力できます。管理画面は日本語のみです。
- 対応通貨：日本円・米ドル。

9.2 デジタル資産・ブロックチェーンの扱い（概要）

- ・ チケット・グッズ・会員証はブロックチェーン上のデジタル資産として発行されます。利用者はガス代（ブロックチェーン手数料）を負担しません。
- ・ 受取確定後は転送できません（転売抑止）。利用者向け UI ではデジタル資産であることを意識させない設計です。

10. 手数料体系

以下は既定の手数料率です。手数料率は契約により異なる場合があります（運営がユーザー単位で設定）。端数は切り上げます。

手数料	既定	負担	適用
決済手数料	5%	購入者	一次販売（2024/4/1 以降に販売開始）
販売手数料	5%	主催者（売上から差引）	一次販売
デジタル決済追加手数料	+4%	購入者	デジタル決済（Apple Pay／Google Pay／Alipay）利用時
コンビニ追加手数料	+2%	購入者	コンビニ払い利用時
コンビニ手数料	150 円/回	購入者	コンビニ払い利用時
コンビニ発券手数料	165 円/枚	購入者	紙チケットの発券時のみ
リセール決済手数料	5%	買い手	二次流通
リセール販売手数料	5%	売り手	二次流通
主催者ロイヤリティ	券ごと設定	売り手	二次流通（値上がり益に対し）

★重要 決済手段による購入者の追加負担：クレジットカードは追加なし（決済手数料のみ）、デジタル決済は+4%、コンビニ払いは+2%+コンビニ手数料 150 円/回（紙チケットの発券時はさらに発券手数料 165 円/枚）。購入者から「表示価格より高い」と問い合わせを受けた場合はこの内訳をご案内ください。

10.1 計算例

- ・ 一次販売（1,000 円・各 5%）：購入者支払 1,050 円／主催者手取り 950 円。
- ・ コンビニ払い（5,000 円 1 枚）：5,000+250（決済 5%）+100（+2%）+150（コンビニ手数料）=購入者支払 5,500 円／主催者手取り 4,750 円。紙チケットを発券する場合はさらに+165 円（5,665 円）。

- ・ デジタル決済（5,000 円 1 枚）：5,000 + 250（決済 5%） + 200（+4%） = 購入者支払 5,450 円 / 主催者手取り 4,750 円。

11. セキュリティ・個人情報・法令順守

11.1 本人確認手段

購入時の本人確認：デジタル ID 連携、電話番号確認、SMS 認証（主に抽選）など。イベント / 会員券ごとに可否を設定できます。未確認の利用者は購入できません。利用可能な確認手段の詳細は運営サポートにご確認ください。

11.2 購入制限・アクセス制御

- ・ NFT（デジタル資産）保有制限：特定の保有を購入条件にできます（いずれか保有 / すべて保有 / 制限なし）。会員証保有を条件にする使い方も可能です。
- ・ 副券は、メインチケット保有で保有制限を満たす場合、副券側のチェックを省略できます。
- ・ 抽選受付では本人確認書類の提出・確認を求める設定が可能です。限定公開リンクによるアクセス限定もできます。

11.3 不正・転売対策

- ・ 短時間に申込が集中した場合、一時的に購入を制限します（流量制限）。高アクセスが見込まれる場合は閾値を調整できますので、事前に運営サポートへご相談ください。
- ・ 受取確定後のチケットは他者へ移せません（転売抑止）。その他の抑止機構は 5.4 を参照してください。

11.4 個人情報・データの取り扱い

- ・ 参加者情報・CSV は個人情報を含むため、主催者・運営の認証下でのみ閲覧・出力できます。
- ・ **責任分界：**主催者は、取得した個人情報の適正管理に責任を負います。運営は権限の範囲で代行・支援します。取り扱いの詳細は利用規約・プライバシーポリシーをご確認ください。

12. 通常フロー / 例外フロー総覧

主要オペレーションの「通常」と「例外」を一覧で引けるようにまとめました。詳細は各章を参照してください。

業務	通常フロー	例外フロー	参照
返金	仮押さえは期限切れで自動解放	決済後の自動返金は【未対応】。主催者が手動対応	3.1.3
譲渡	リンク作成→受取→所有権移転 (二重受取防止)	譲渡禁止設定／パートナー発行は開催後受取不可／受取確定済みは移転不可	5.1
リセール	出品→約定→所有権移転、ロイヤリティ配分	出品者本人の一覧は【未対応】。抑止機構の組み合わせで対応	5.2-5.4
当日入場	QR 提示→スキャン→もぎり完了	二度目入場は拒否／受取確定後は移転不可	4.1-4.3
出金	残高 500 円以上→申請→処理中→支払済み	差戻し・キャンセルあり。振込手数料は銀行・入金日で変動	6.1-6.4
CSV 出力	抽選申込・購入者・出金一覧を認証下で出力	上記以外のデータは運営サポートに確認	8.5

13. 権限マトリクス

○ = 可、× = 不可、△ = 条件付き / 設定により可。パートナー (△) の具体的な操作範囲は連携内容により異なるため、個別にご確認ください。

操作	一般ユーザー	主催者	管理者(運営)	パートナー
購入・申込	○	○	○	○
譲渡	○	△(設定で制御)	△(代行)	△(発行条件あり)
リセール出品・購入	○	△(可否を制御)	×(監視画面なし)	△(手数料設定)
イベント／物販／会員券の作成・販売	×	○(本人確認前提)	○(代行)	○(共同運営)
価格・券種の設定	×	○	○	△
売上・出金管理	×	○(自分の売上)	○(全体・代行)	△
本人確認の承認	×	×	○	×
手数料率の変更	×	×	○	△(リセール手数料)
ユーザー権限の変更・昇格	×	×	○	×
入場 (もぎり)	×	○	○	△
CSV 出力	×	○(自分の分)	○(全体)	△

14. 変更可否マトリクス（販売開始前／後）

○ = 変更可、× = 変更不可、△ = 可だが注意・整合確認が必要。販売中の変更は必ず本表で確認してください。

項目	販売開始前	販売開始後	備考・注意
券種の価格調整（+○円）	○	△	「券種編集」からのみ。既購入分との整合に注意
受付の基準価格	○	△	受付編集で設定。既購入価格は変わらない
割当枚数	○	○	増減可。減らす場合は販売済み数に注意
購入枚数制限	○	○	引き下げ時は上限近くの購入者と整合に注意
譲渡可否・リセール可否	○	○	販売開始後も切替可
券種の追加	○	△	全受付に一律適用される点に注意
受付ごとの券種オン／オフ	×	×	【未対応】券種は全受付一律
座席の削除	×	×	【未対応】売り止めで対応
座席名の変更	×	×	【未対応】再登録が必要
増席	△	△	運営側の操作 + 座席登録で対応
公開設定（非公開／限定公開／公開日時）	○	○	—
手数料率	×	×	運営のみ変更可

15. FAQ（主催者向け）

Q. 特典付きチケットはどう作る？

A. 専用機能はありません。①券種の価格調整（+○円）②副券 で表現します（2.4・7.3）。

Q. 価格を変えたのに購入画面の金額が合わない

A. 券種の価格調整は「券種編集」からのみ設定します。受付編集には加算後金額（例 13,000 円）は表示されず、購入時に計算されます（2.4.2）。

Q. 販売開始後に枚数や購入制限は変えられる？

A. 割当枚数・購入枚数制限は変更可。価格調整・基準価格は△（既購入分との整合に注意）。詳細は第 14 章。

Q. 購入者へ返金したい

A. システムの自動返金は未対応です。参加者一覧で対象を特定し、システム外（銀行振込等）で主催者が対応します。手数料分の扱いは運営サポートへご相談ください（3.1.3）。

Q. 公演が中止になった。どうすればいい？

A. 購入者一覧 CSV で対象を確定 → 購入者一括メールで案内 → 主催者にて返金を実施します。件数が多い場合は早めに運営サポートへご相談ください（3.1.3）。

Q. いつ出金できる？

A. イベントは開催終了翌日正午以降、物販・会員券は即時。残高 500 円以上が条件です（6.2）。

Q. 通常出金と毎月出金の違いは？

A. 売上が出金可能になるタイミングの違いです。毎月出金は締日基準で月単位にまとめます（6.1）。

Q. 抽選で当選者が支払わなかったら？

A. 支払期限超過で当選は自動失効し座席は回収されます。設定により未払い枠を次受付へ繰越できません（3.2.3）。

Q. 当日スタッフにもぎりだけ任せられる？

A. 可能です。主催者発行の共有リンクからもぎりできます（4.1）。

Q. 購入者から「表示価格より請求が高い」と言われた

A. デジタル決済は+4%、コンビニ払いは+2%+コンビニ手数料 150 円/回（紙チケット発券時はさらに 165 円/枚）が購入者に加算されます。クレジットカードに追加負担はありません（第 10 章）。

Q. 自分の出品（リセール）状況を一覧で見たい

A. 出品者本人の一覧機能は未対応です。主催者・運営にも監視画面はありません。転売抑止は設定の組み合わせで対応します（5.4）。

Q. 会員のみ購入可にできる？

A. 会員証の保有を条件に、他のイベント・物販を会員限定にできます（7.2・11.2）。

Q. 参加者情報やアンケートはエクスポートできる？

A. 抽選申込・購入者・出金一覧は CSV 出力できます。それ以外のデータは運営サポートにお問い合わせください（8.5）。

16. トラブルシューティング

症状	考えられる原因	対処	担当
購入画面の金額が設定と違う	券種の価格調整が受付編集に表示されない仕様	券種編集で調整値を確認。最終価格は購入時計算（2.4.2）	主催者
「連番確保失敗」の警告	空席の断片化	バラ配置＋手動修正。自動配席を再実行	主催者
配席・採番が反映されない	大量処理中の待機制御／多重操作	数秒待つ。更新中は重複操作しない	主催者
当選者が支払えない	支払期限超過で自動失効	繰越設定を確認。再抽選で調整（3.2.3）	主催者/運営
二重に入場できる/弾かれる	もぎり済み判定	入場状況一覧で状態確認。誤判定は運営サポートへ	当日担当
返金してほしいと言われた	自動返金が未対応	主催者が手動対応。運営サポートは取次ぎ（3.1.3）	主催者
購入者が退会できないと言っている	保有・未受取・未出金等の制約	利用者向けヘルプまたは運営サポートを案内（2.1）	運営
CSVが出力できない	権限・対象データの制約	認証下で実行。対象範囲は運営サポートに確認（8.5）	主催者/運営

17. 既知制約・未対応一覧

分類	内容	代替・備考
返金・キャンセル	システムによる自動返金・キャンセルは未対応	主催者が手動運用。仮押さえは期限切れで自動解放
リセール監視	出品者本人の出品一覧、主催者／運営のリセール監視なし	個別の取得・更新・キャンセルは可（出品特定時）。抑止機構は5.4参照
特典機能	専用の特典機能なし	価格調整付き券種・副券で代替
座席	座席の削除・座席名の変更は未対応	売り止め・再登録で対応
券種	受付ごとの券種オン／オフは不可	券種は全受付に一律適用

18. 用語集

優先用語を見出しに統一しています。別名は併記し、禁止語（混同を招く表現）は使用を避けてください。

優先用語	意味	別名・禁止語
受付	販売期間・販売方式・基準価格・枚数制限をまとめた販売単位	別名：販売受付／禁止語：『販売枠』単独使用
券種（チケットタイプ）	基準価格に価格調整（加算／割引）を加えたチケットの種類	別名：チケットタイプ／禁止語：『チケット種類』の乱用
基準価格	受付ごとに設定する価格の基準値	禁止語：『定価』（リセール文脈と混同）
価格調整	券種ごとの加算／割引額	別名：加算額
仮押さえ	購入前に座席／枚数を一定時間確保する仕組み（自由席・整理番号 45 分、リセール 15 分）	別名：仮確保
受取確定	チケット／グッズの受け取りを確定する操作。以後は転送不可	別名：受け取り
もぎり	入場時にチケットを使用済みにする操作（QR スキャン・スワイプ入場）。紙チケットの半券もぎりに由来する呼称	別名：入場処理・消込
約定	リセールで買い手が確定し、取引が成立すること	—
流量制限	短時間のアクセス集中時に、一時的に購入を制限する仕組み	別名：アクセス制限
譲渡	無償での所有権移転	禁止語：『転送』
リセール	購入者間の二次流通（出品・買いオファー）	別名：二次流通／禁止語：『転売』（不正文脈以外で使わない）
主催者ロイヤリティ	二次流通の値上がり益に課す主催者向け料率	—
出金（精算）	主催者が売上を振込で受け取る手続き	別名：精算
確定売上／仮売上	出金可能な売上／確定前の暫定売上	—
NFT 保有制限	特定のデジタル資産の保有を購入条件にする設定	別名：保有制限
副券	メインチケット保有を前提に買える追加券	禁止語：『オプションチケット』
World	主催者専用の販売サイト	—
限定公開リンク	限定公開・外部連携向けの招待リンク	別名：招待リンク
デジタル資産	ブロックチェーン上で 1 枚ずつ管理される券・証	UI 上は意識させない

本書の記載内容についてご不明な点は、担当者または主催者サポート窓口までお問い合わせください。